

常任委員会 こんなことを聞きました



狂犬病予防注射

Q 28年度の犬の登録頭数と狂犬病予防注射の接種頭数は。

A 登録頭数は3395頭、予防注射の接種頭数は2880頭。

東浦自然環境 学習の森のPR

Q 東浦自然環境学習の森の知名度を上げるためのPRは。

A 町ホームページで紹介している。基本計画の見直しとともにガイドブックを1500部作成した。

下水道事業 特別会計決算

Q 水洗化率の低い処理分区への対応は。

A 未接続の世帯等に通知や戸別訪問等を行い、水洗化率の向上を図る。



民生委員活動

Q 民生委員活動費の今後は。

A 活動費用額については、高齢化に伴い、対象者が広がる中で、事業の精査を行いながら検討をしていく。

東浦町いじめ防止 基本方針

Q 教育費における業務改善点は。

A 東浦町いじめ防止基本方針を定め、東浦町いじめ問題対策委員会および東浦町いじめ問題調査委員会条例を制定した。



バスロケーション システム

Q 総務部の重点的な取り組みと成果は。

A 地域防災力の充実強化を図るため、西部防災倉庫の建設、役場東の防災倉庫設計等を行い、大規模災害に備えている。また、地域公共交通の利便性の向上を図るため、



▶バスロケーションシステムが確認できる電光掲示板

地方創生の交付金でバスロケーションシステムを導入。

東浦町職員定数条例の 一部改正

Q 保育士で、正規職員の代わりに非常勤職員での対応は可能か。

A 有資格の非常勤職員でも対応は可能だが、0〜2歳児の心の安定のために担任を固定し、正規職員を担任に配置したい。

Q 子どもの数が減少するにも関わらず、保育士定数を増員する理由は。

A 保育士の配置基準は、0歳児で3人に1人、2歳児までは6人に1人等、低年齢は配置人員が多くなるため、乳児クラスが増えると保育士が多数必要となる。

28年度一般会計決算

賛否討論

※要約してあります

賛成

黒字決算 評価する

清流会 三浦雄二 議員

28年度決算は歳入総額151億4084万円余、歳出総額145億9973万円余で、形式収支（歳入歳出差引額）は5億4110万円余の黒字決算となっている。また、繰越財源として、緒川小学校多目的ホール天井等改修事業費、シルバー人材センター耐震改修事業費、町道西平地西之宮線整備事業費、都市計画道路緒川南北線整備事業費等、限られた財源で、最大効果発揮の事業展開が行われている。

また、他の細かな項目についても、町職員の努力で町財政の健全化が図られ、適正かつ効率的に執行されているものと認められるため、決算の認定について賛成討論とする。

賛成

女性が活躍できる子育て支援のまちに

公明党東浦 米村佳代子 議員

28年度の実質収支は5億1399万円余の黒字となり、また、プライマリーバランスは、10億5882万円余の黒字で、財政が健全であることが示されている。

各施策では、高齢者いきいきマイレージ事業、4年生まで拡大の児童クラブ事業、絵本を贈呈するブックスタート事業、西部防災倉庫、豆搦橋歩道橋等の道路改良事業、高齢者運転免許証自主返納支援事業等、「第5次東浦町総合計画」に沿い、目標達成に努められ、我が党の予算要望が実現・推進され、高く評価する。

今後、多様性を持つ共生社会を作っていく仕組みや女性が働き続け活躍できる子育て支援等、行財政改革に取り組むようお願いし、賛成討論とする。

賛成

将来に向け目的別基金を

無所属 成瀬多可子 議員

財政状況はおおむね良好で堅実な経営。将来に向け、目的別基金の必要性も理解されている。来るべき公共施設・インフラの更新ラッシュで財政が短期に集中して打撃を受けないよう準備がいる。自治基本条例制定に向けての取り組みの遅れが感じられるが、住民の理解を得られるよう今後も丁寧に進められたい。

保育においては、行政と民間とがともにニーズに応える動きができたことが実績に現れた。めざす町のありようとして、自立・自治の視点には外せない。個人・地域でできることはどれだけか、行政の手を入れる必要はどこからか、今後も多様な声を聴き、冷静に見極めてバランスの取れた予算と執行に努められたい。

反対

「予算がない」ではなく実態の理解に努めよ

日本共産党東浦町会議員団 杉下久仁子 議員

歳入では、個人町民税が前年比325万円減収、法人税は2059万円の増収。法人税率9・7%を制限税率12・1%にする必要があると考える。

歳出では、職員の正規と非正規で賃金格差が開き、保育士では約100万円の差がある。同一労働同一賃金を求める。

マイナンバーカードは、人口に対し1割に満たない2527枚の普及状況。そこへ情報セキュリティ強化対策に3983万円をかけ、貴重な税金を使うことが住民福祉・サービスの向上につながるのを見えてこない。

そして、歳出全体で予算を使い切らない節約志向は、住民が要望をしづらいとの声がある。「予算がない」ではなく現場実態の理解に努めるべきである。他9点を指摘。

賛成

福祉施策拡充で少子高齢化・住民福祉強化に対応

至誠会 向山恭憲 議員

28年度一般会計決算は、歳入総額151億4084万円余（対前年度比3・1%増）、歳出総額145億9973万円余（対前年度比5・0%増）で、実質収支は、5億1399万円余の黒字であり、予算のねらい通りに事業が遂行された結果であると評価する。

歳出のうち、民生費57億円余（対前年度比10・3%増）は、高齢化社会や住民福祉強化の施策が展開されている。

また、児童福祉への施策で、保護者から子ども本人への応援策へ転換した。新しい視点での施策を高く評価し、賛成討論とする。

決まりました! 主な議案

平成29年第3回東浦町議会定例会 議員別審議結果一覧表 平成29年9月26日採決(同意第20号、報告第7号および報告第8号、承認第6号については、平成29年9月7日採決)

| 議案番号等 | 議員名 議案名 | 至誠会 | | | | | 清流会 | | | 公明党 東浦 | 日本共産党 東浦町会 議員団 | 幸福実現党 | 高志会 | 無所属 | 無所属 | 議決結果 | |
|--------|--|------|------|------|------|-------|------|------|------|-----------|----------------------|-------|-------|------|------|------|------------|
| | | 山下享司 | 向山恭憲 | 水野久子 | 長屋知里 | 小松原英治 | 三浦雄二 | 前田明弘 | 西尾弘道 | 米村佳代子 | 秋葉富士子 | 平林良一 | 杉下久仁子 | 原田悦子 | 田崎守人 | | 小田清貢 |
| 同意 20 | 教育委員会委員の選任について | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 |
| 報告 7 | 損害賠償の額の決定及び和解について | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 報告 8 | 28年度東浦町健全化判断比率及び資金不足比率について | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 承認 6 | 29年度東浦町一般会計補正予算(第2号)の専決処分承認を求めることについて | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 承認(全員賛成) |
| 認定 1 | 28年度東浦町一般会計決算の認定について | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定(賛成多数) |
| 認定 2 | 28年度東浦町国民健康保険事業特別会計決算の認定について | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定(賛成多数) |
| 認定 3 | 28年度東浦町土地取得特別会計決算の認定について | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定(全員賛成) |
| 認定 4 | 28年度東浦町後期高齢者医療特別会計決算の認定について | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定(全員賛成) |
| 認定 5 | 28年度東浦町下水道事業特別会計決算の認定について | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定(全員賛成) |
| 認定 6 | 28年度東浦町水道事業会計決算の認定について | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定(全員賛成) |
| 議案 23 | 東浦町職員定数条例の一部改正について | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決(全員賛成) |
| 議案 24 | 東浦文化広場条例の一部改正について | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決(全員賛成) |
| 議案 25 | 東浦町生きがい活動支援通所条例の廃止について | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決(全員賛成) |
| 議案 26 | 29年度東浦町一般会計補正予算(第3号) | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決(全員賛成) |
| 議案 27 | 29年度東浦町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決(全員賛成) |
| 議案 28 | 29年度東浦町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決(全員賛成) |
| 議案 29 | 町道路線の一部廃止について | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決(全員賛成) |
| 発議 1 | 議会のあり方検討特別委員会の設置について | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決(賛成多数) |
| 発議 2 | 北朝鮮による弾道ミサイル発射及び核実験に抗議する決議 | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決(全員賛成) |
| 意見書案 3 | 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書 | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決(全員賛成) |
| 意見書案 4 | 道路整備予算の確保及び道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書 | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決(全員賛成) |
| — | 議員派遣 | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決(全員賛成) |

【表の凡例】 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成議員、●は反対議員

議員発議

※要約してあります

第1号

議会のあり方検討
特別委員会の設置

目的
住民の信頼に応え、活力あふれる議会活動を実践していくため、議事機関としてのあり方について調査・研究をする。

構成
定数 15人
委員長 田崎 守人
副委員長 小松原英治

※29年9月26日に第1回の委員会を開催

第2号

北朝鮮による弾道ミサイル
発射及び核実験に抗議

北朝鮮は29年8月29日および9月15日に、日本上空を通過する弾道ミサイルを発射し、9月3日に過去最大規模の核実験を実施した。

非核・平和を宣言し、非核と世界の恒久平和を望む東浦町議会としては、町民の生活の安全と安心を守る立場から、北朝鮮の度重なる弾道ミサイル発射および核実験に厳重に抗議するとともに、このような暴挙が決して繰り返されることのないよう、強く求める。

意見書提出

※要約してあります

定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

子どもたちが全国どこに住んでも、機会均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。しかし、義務教育費の国庫負担率は引き下げられたままである。

よって貴職においては、30年度の政府予算編成にあたり、定数改善計画の早期策定・実施と、十分な教育予算を確保されるよう強く要望する。

提出先 内閣総理大臣他

道路整備予算の確保及び道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書

道路事業においては「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定により、交付金事業の補助率等がかさ上げされている。しかし、この規定は29年度までの時限措置となっており、30年度から地方負担が増加することになれば、自治体運営にも多大な影響が生じることとなる。

よって、今後も道路整備を着実に推進するよう強く要望する。

提出先 内閣総理大臣他